

老人憩の家建設に重点 道路整備事業

昭和46年度 予算 1億5千500万円

限られた財源を 明確い村づくりに集中

昭和四十六年度の村政の方向を決める予算案が三月二十日議決され、つぎのように使われます。

一般会計

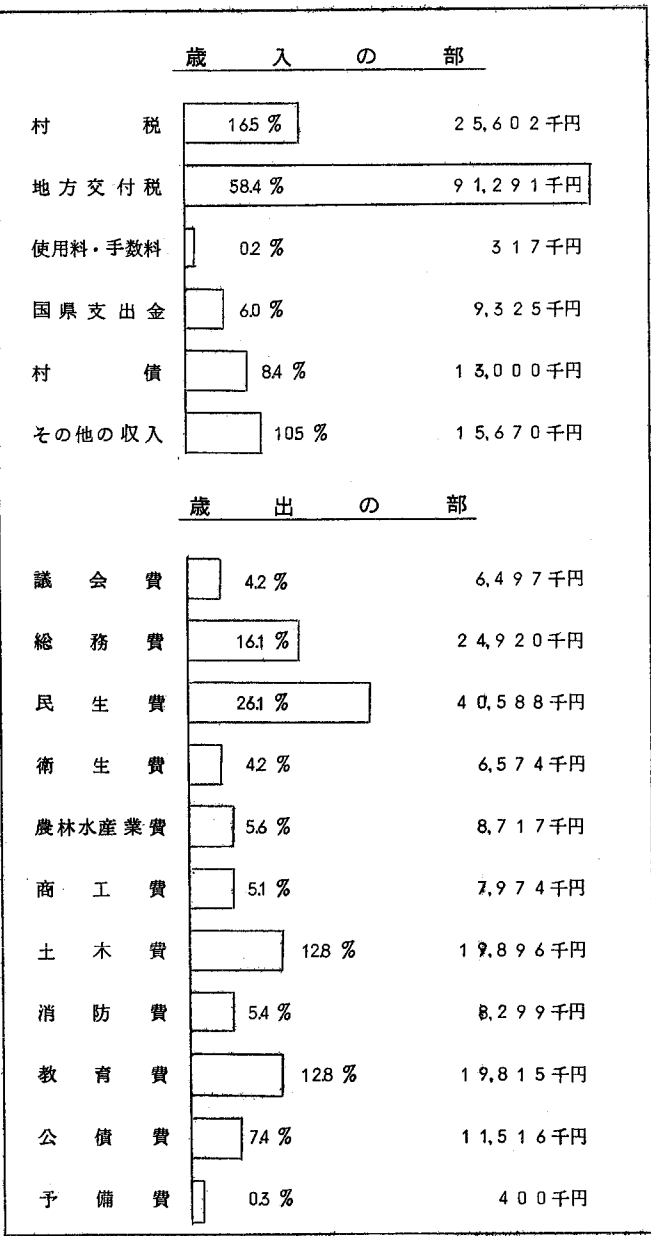
総務費

総務費は行政事務を行なうために必要な経費です。三役、職員給料等、役場事務の各種経費、広報発行経費、財政会計及び財産管理費、月漏村の長期計画を作成するための企画事務

民生費

民生費予算は四〇五八八千円で

経費、村税の賦課徴収経費、戸籍住民登録費、本年行なわれる村議会議員選挙等の選挙費、各種統計調査の経費、監査委員会の経費等です。交通安全の増大に備えての交通安全対策費としては、カーブミラー一三ヶ所設置費九〇千円、標識代二〇千円、その他二〇〇千円を計上しました。



衛生費

衛生費は皆さんの健康管理と環境整備を図る経費で六五七四万円です。ゴミ・し尿・火葬場の組合の負担金が三〇二二四で57%を占めております。事業では血圧・胃ガン・子宮ガン等検診や、各種予防注射・乳児検診、健康相談を計画しております。又母子の健康増進のため牛乳支給費一五八千円を予算化しました。ハエ・蚊を駆除するには施設を改善し、発生源を根絶することが必要ですが実際にはなかなか困難で薬剤を使用することになりました。今年も薬剤費補助を50%にしました。

農林水産業費

近年農業をとりまく諸状況は極めて厳しく、特に米作においては生産調整政府買入限度数量が定められる措置がとられ農業生産に不安が感ぜられます。然し乍ら本村農業は現時点、将来とも米生産基地・果樹主産地として生産性の高い農業経営を実現するため次のとおり重点施策を推進いたします。

- 1 品評会・共進会は前年通りです。新しく行ないます。七千円
- 2 試験圃・展示圃に白菜枯病の薬剤試験を二ヶ所設置します。一五五千元
- 3 集団的生産組織の育成を図る目的で国県補助事業の外、村単独事業として田植機の共同利用を併せ二ヶ所(一ヶ所一〇ha単位)実施します。四二二千元
- 4 良質米の量産指導は米生産基地として最重要事項であるので重点品種を設定しその普及につとめます。一一〇千円
- 5 果樹主産地形成及基盤整備を図るため果樹組合とタイアップして経営の合理化を推進する。一五〇千円
- 6 青果物の流通改善、販路の拡大及び価格の安定を図ると共に流通体制の強化につとめます。四〇千円
- 7 農業公害が問題化され、ことに残留農薬と関連して農業使用規制が厳しくなりましたので、農業安全使用を指導します。五〇千円
- 8 球根栽培を推進するため、優良品種の確保をはかります。二〇千円
- 9 畜産振興費 四二二千元
- 10 優良種豚の導入は前年に引き続き実施し純種種の繁殖により安定した種豚供給をはかります。一八〇千円
- 11 家畜衛生防疫対策として伝染病予防は勿論、畜産公害防止と家畜の環境衛生をかね畜舎消毒の完全実施をはかります。一〇四千元

商工費

商工業の振興育成及び指導対策費として七九七四千円、内振興費は六七三九千円、その八四・七%は産業育成資金の元利金となっております。本年度は店舗改善資金利子補給を一%行なうことになり、五二千元を見込んでいます。

土木費

施政方針にあります通り、本年度も土木事業(道路改良)を重点的に推進するよう予算編成がなされています。総額は一九六九六千円で総予算の二一・七%にあたります。道路改良費のうち工事請負費は一、二六九五千円、主たる事業は次の通り

- 1 東部用水沿線舗装工事 九〇〇千円
- 2 四五年度事業費 四〇七八千円
- 3 併せて一三〇七八千円、二四〇〇米施工される予定
- 4 二一八〇千円
- 5 二木滑し曲通道路改良工事

消防費

消防費は消防団の運営経費及び白根地区消防事務組合の負担金の経費です。本年度より消防の近代化を図るため、次の三点を重点として予算の編成をした。

- (1) 消防団員の待遇改善 他町村と比較して団員の報酬が安かったため大幅な引上げをした。
- (2) 消防団員の活動促進 本年度は特に学校の施設設備の充実新指導要領による教材教具図書等の整備、学校の環境衛生測定機器の購入、牛乳用冷蔵庫、産振備品等の整備をはかることになっております。また社教公民館関係では青年団・婦人会等の活動促進、老人学級の開催、青少年の健全育成対策及び体育振興のための村民運動会・水泳大会等の開催を計画いたしております。